



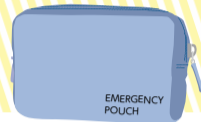
コープみらい さいたま インフォメーション

9月は
防災月間

もしものために、いつもの備えを

被災に備えて、食糧備蓄や避難用のリュックなどを用意されているご家庭は多いのではないのでしょうか。それは「家で被災した時」を想定したものです。私たちは1日の1/3の時間を職場や学校などの外出先で過ごす日もあります。河川の決壊、交通機関のまひ、停電などにより、外出先から自宅に帰れないケースも考えられます。お出かけ時の『もしも』のために、今からできる備えを紹介します。

外出先のおまもりに 自分専用の「防災ポーチ」を作ってみよう



基本アイテム(例)

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 携帯食	<input type="checkbox"/> 救急用品セット
<input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 持病薬・常備薬
<input type="checkbox"/> ミニライト	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> ハンカチ(大判)
<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー)	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー
<input type="checkbox"/> 連絡メモ	<input type="checkbox"/> ポリ袋
<input type="checkbox"/> 筆記用具(メモ帳と油性ペン)	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> 身分証明書(そのコピー)	<input type="checkbox"/> 雨具

このチェックリストは、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター
(<https://www.dri.ne.jp/>)の「減災チェックリスト」を元に作成しました

自分だけのアイテムを追加しよう

- ・「帰宅支援マップ」などの地図
- ・眼鏡やコンタクトレンズの予備
- ・生理用品など

1年に2回はチェックしよう

- 季節に合わせたアイテムを追加したり
実際に使用可能か確認しましょう。
- ・保温シートやカイロ
 - ・汗拭きシート

家族や場面によって考えよう



うちの子、大丈夫…?

子どもを守るためにできる備え

小学生以上のお子さん是一人でお出かけする場面も増えるのではないのでしょうか。保護者と子どもが離れ離れの時の備えについて考えてみましょう。

日頃から家族全員が予定を把握しておこう

9月5日(月)	みんなで共有
パパ 仕事(am事務所 pm外出)	
ママ 仕事(9:00~16:00)	
わたし 学校→15時帰宅→17時スイミング	

家の中の備えを覚えておこう

保護者が帰宅できない場合を考え、防災グッズなどの場所を家族で共有しておくとう安心です。

通学路の「危険」を一緒に探してみよう *地震を想定した例

災害時は一番最初に自分の身を守りましょう。事前に、落ちてきそうなものや、倒れてきそうなものはないか子どもの目線で一緒に探してみましよう。

- ・ブロック塀や電柱、街灯、自動販売機
- ・瓦屋根や高い位置に設置された室外機・看板など

動けるようになったあとの行動を考えてみよう

学校や習い事先での緊急時の連絡や引き渡しルールについて確認しておきましょう。

安否確認の方法を確認しておこう

日頃から家族で話し合っておきましょう。



もう一度! ハザードマップを確認しよう

災害用伝言ダイヤル(171)

毎月1日と15日に体験利用できるよ

災害時は、被災地への通信が増加しつながりにくい状況になることがあります。その場合に提供が開始される「声の伝言板」です。「171」をダイヤルすれば、ガイダンスに従って録音・再生ができます。

公衆電話から かける場合

- ① 受話器を取る
- ② 災害時はお金を入れず「1・7・1」を押す
- ③ ガイダンスに従い録音・再生



公衆電話がある場所を知っておくと安心
災害時、公衆電話は優先的につながります。
NTT東日本のホームページ「公衆電話設置場所の検索」で探せます。



近年、想定を超える降水量が記録されていることから国はこれまでの想定を厳しく見直し、「100年~200年に1度の雨」から、「1000年に1度」の想定に変えました。
*新しい想定洪水ハザードマップに更新が進んでいます
*ハザードマップは自治体のホームページや国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」から閲覧できます。
また、各家庭へ配布している自治体もあります

埼玉県災害対策アプリ「まいたま防災」

埼玉県公式のスマートフォンアプリ。
いざという時に役立つ防災情報や非常時の緊急情報などお知らせしています。

*ダウンロードはこちら

